

平成28年度 事業計画書

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

東京都中央区築地3丁目11番6号

(一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

I. 事業方針

本会は、わが国におけるモーターサイクルスポーツを統轄し代表する団体として、モーターサイクルスポーツの普及振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与する目的を達成するため、本年度は以下の基本方針に基づき事業を推進する。

■重点項目は下記とする。

- ・ 主要競技会の活性化
- ・ モーターサイクルスポーツを支える層の拡大（年少者／女性／愛好者）
- ・ アジア地域との連携
- ・ 社会的認知の向上（メディア露出の拡大）
- ・ 安全／環境対策

II. 事業内容

1. 競技会

1) 競技会主催事業

主催競技会（施設との共同主催含む）を15大会開催する。

2) 競技会公認・承認事業

規定に基づき全国の競技会・講習会を公認または承認する。（約500大会予定）

3) 主要競技会日程

主要競技会の公平を維持する為、必要に応じて審査委員長等を派遣する。

(1) ロードレース

①世界選手権／国際競技会／特別競技会 全大会MFJ共催／スポーツ庁後援／観光庁後援

開催日	格式	大会名	会場
6月3日～5日	国際選手権	F I Mアジア選手権ロードレース日本大会	鈴鹿サーキット
7月29日～31日	世界耐久選手権	コジウ鈴鹿8時間耐久レース	鈴鹿サーキット
10月14日～16日	世界選手権	M o t o G P日本グランプリ	ツインリンクもてぎ

② 全日本選手権 (全9戦) 全大会MFJと共催/スポーツ庁後援/観光庁後援

日程		会場	開催クラス				併催 MFJ カップ
			JSB	GP2	ST600	GP3	JP250
4月9-10日	第1戦	筑波		◎	○	○	●
4月23-24日	第2戦	鈴鹿2&4(200KM)	○				
5月28-29日	第3戦	もてぎ	○	○	○	○	
6月11-12日	第4戦	オートポリス	○	○	○	○	●
6月25-26日	第5戦	SUGO120Miles	○	○	○	○	●
8月20-21日	第6戦	もてぎ2&4		○			●
9月10-11日	第7戦	オートポリス2&4	○				
9月24-25日	第8戦	岡山国際	○	○	○	○	●
11月5-6日	第9戦	鈴鹿 MFJ-GP	◎	○	○	○	●

※◎は1大会2レース制 JSBクラス年間チャンピオンには『文部科学大臣杯』を授与

今期よりMFJカップJP250クラスを6戦併催。第4戦・第7戦は熊本地震の影響で中止

(2) モトクロス

①全日本選手権 (全9戦)

	日程	会場		日程	会場
第1戦 九州	4月2-3日	HSR九州	第6戦 東北	7月23-24日	藤沢
第2戦 関東	4月16-17日	オートポリス	第7戦 近畿	9月10-11日	名阪スピードランド
第3戦 中国	5月14-15日	グリーンパーク弘楽園	第8戦 関東	10月1-2日	オートポリス
第4戦 SUGO	6月4-5日	スピードランド SUGO	第9戦 MFJGP	10月22-23日	スピードランド SUGO
第5戦 近畿	7月2-3日	神戸空港特設コース			

※ 最終戦MFJ-GPはMFJ共催/スポーツ庁後援/観光庁後援

②モトクロス全国大会 (スポーツ庁後援・観光庁後援)

シニア・国内A/B級の全国選抜大会を中国地区(弘楽園)にて8月28日に開催。

(3) トライアル

① 世界選手権トライアル MFJ共催・スポーツ庁後援・観光庁後援

4月23日/24日 世界選手権日本グランプリ 会場: ツインリンクもてぎ

② 全日本選手権 (全7戦)

	日程	会場		日程	会場
第1戦 関東	3月13日	真壁トライアルランド	第3戦 九州	7月3日	矢谷溪谷トライアル場
第2戦 近畿	4月17日	名阪スピードランド	第5戦 北海道	7月17日	わっさむ
第3戦 九州	5月15日	矢谷溪谷トライアル場	第6戦 中部	10月9日	おたけドライブランド
第4戦 中国	6月12日	鳥取TRパーク	第7戦 東北	10月30日	スピードランド SUGO

※第3戦九州大会は熊本地震の影響で7月3日に日程変更

③ トライアルランドチャンピオン大会

国内A級以下の全国大会を11月13日 近畿・湯浅トライアルパークにて開催

(4) その他の競技

①全日本スノーモビル選手権 (全5戦)

※開催は2016年1月～3月

	日程	会場		日程	会場
第1戦	1月24日	新潟(清津)	第4戦	2月14日	北海道(士別)
第2戦	1月31日	長野(斑尾)	第5戦	2月28日	北海道(美瑛)
第3戦	2月7日	北海道(真狩)			

※第1戦・第2戦は積雪不足で中止

②全日本スーパーモト選手権 (全9戦)

	日程	会場		日程	会場
第1戦	4月24日	美浜(愛知)	第6戦	8月28日	SUGO(宮城)
第2戦	5月22日	HSR九州(熊本)	第7戦	9月18日	桶川(埼玉)
第3戦	6月19日	It's(福島)	第8戦	10月16日	名阪(奈良)
第4戦	7月17日	琵琶湖SP(滋賀)	第9戦	11月8日	茂原(千葉)
第5戦	8月7日	タカタ(広島)			

※第2戦HSR九州大会は熊本地震で中止

③全日本インデューロ選手権 (全4戦)

	日程	会場
第1戦 中国	5月8日	テージアスランチ(広島)
第2戦 近畿	6月19日	プラザ坂下(大阪)
第3戦 北海道	9月17～28日	日高(北海道)
第4戦 東北	11月19～20日	スパーランド SUGO(宮城)

(5) 全日本選手権ランキング表彰式

全日本選手権各種目のランキング上位3名を表彰する式典を下記にて開催する。

開催日：平成28年12月17日(土) 場所：東京・日経ホール ※予定

(6) 競技用車両・部品・用品の公認事業

競技会の公平性・安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした競技車両・部品・用品を公認する。

(7) 競技施設の公認事業

競技施設の安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした施設を公認する。

(8) サービス事業(競技運営用備品・用品の販売等)

- ・主催者に対し競技運営に必要な備品・用品・テキスト等を製作し販売を行う
- ・公認用品製作/販売会社に製品に貼付する公認を証するマークを販売する。
- ・規定に基づき参加者の昇格申請手数料、希望競技番号料等を受け付ける。

(9) 会員登録

- ・個人会員の申請受付・登録・会員証発送作業を行う(WEB申請・郵送申請)
- ・特別会員・賛助会員・プレス会員の申請受付・登録作業を行う。

Ⅲ. 普及事業

1. 年少者／女性／

1) MF Jロードレースアカデミー in MOTEGI

主催：（一財）日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：栃木県・ツインリンクもてぎ。 期間：2016年4月～9月 年間10日間
年間参加（18歳以下）とスポット参加（年齢問わず、車両持込）とし、年少者だけでなく初心者を受け入れ、底辺の拡大を計る。

2) MF Jトライアルアカデミー

主催：（一財）日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：茨城県・真壁トライアルランド（9回）、栃木県・ツインリンクもてぎ（1回）

期間：2016年9月～2017年1月 募集定員：20名

年少者（9歳以上）女性（年齢問わず）成人男性（年齢問わず）

3) レディースロードレース。

①ツインリンクもてぎにて年間4回を開催する。

2016年度開催スケジュール・会場：ツインリンクもてぎ				
レース開催日	第1回	第2回	第3回	第4回
	3月19日-20日	5月28日-29日	7月10日	11月20日

※講習会はMFJアカデミー/もてぎスクールと合同開催

4) 親子バイク祭り

① 3月25日～27日 東京モーターサイクルショーにて体験試乗会

② 4月10日 全日本ロードレース筑波大会にて体験試乗会

③ 9月17・18日 モトチャンプ全国大会と合同にて秋ヶ瀬サーキットで開催

5) 東北復興応援ツーリング2016（FIM公認）

昨年試験的に開催した同イベントを2016年8月1日～10月末日に実施する。

対象地域：津波被害のあった東北沿岸部

●期間内の主なイベント

8月11日(祝) キックオフミーティング 埼玉スタジアム（地元行政の協力で実施）

8月28日(日) ダンロップツーリングステーション（賛同イベント）福島県・磐梯吾妻スカイライン浄土平レストハウス駐車場

9月24(土)25(日) ツーリングキャンプ&ボランティア 宮城県・神割崎キャンプ場

●後援：観光庁・復興庁宮城復興局、福島県・宮城県・岩手県・青森県、日本自動車工業会、

日本二輪車普及安全協会、全国オートバイ協同組合連合会、全国二輪車用品連合会 等

IV. 広報対策

会員、メディア・販売店・一般への情報を内容に応じ、下記媒体を活用し発信する。

- 1) ホームページを主体とし、加えて会員へメールでダイレクトに情報配信
- 2) 全日本ロード/モトクロスは専用 HP を活用、エンデューロ、スーパーモトは外部 HP とリンク
- 3) モーターサイクルショー等で主要競技と普及イベント告知を小冊子等の手段で行う。
- 4) 国内競技規則書の発行（年間 1 回）※ J K A 補助金事業
- 5) 後半戦の主要競技会の見どころを中心にライディングリミテッド（フリーペーパー）を作成（7 月発行）加盟団体・施設・用品量販店等に配布
- 6) 広報部会活動
 - ・ 専門誌/一般メディアを対象にメールマガジンを発信し露出の拡大を図る
 - ・ 記者発表会等の開催
 - ・ メディア懇談会を開催し連携を図り、意見を頂き、告知協力を依頼する。
- 7) プロモーション事業
 - ・ 全日本ロードレース/モトクロス並びに今期より全日本 TR、MFJ カップ JP250 全戦の放映（無料 B S 放送・B S 12 毎週土曜夜 7 時）※TR と JP250 は 2 戦を 1 番組で放映
 - ・ 全日本ロードレースのインターネット動画ライブ配信
 - ・ 専用ホームページ「superbike.jp」による情報発信
 - ・ メディア向けのシリーズ概要資料作成・配布
 - ・ 東京モーターサイクルショー等への出展・広報
 - ・ 若手育成のユースカップ奨励賞設定（MotoGP 日本 GP ワイルドカード出場時のサポート）
 - ・ ファンクラブ（スーパーバイクサポーターズ）の運営

V. 安全・環境対策

セーフティ委員会・メディカル部会・競技用装備部会にて以下課題に取り組む

- 1) 規定に基づき所定の基準を満たした競技施設の公認（必要に応じて査察）
- 2) 規定に基づき所定の基準を満たした装備品の公認
- 3) 装備の基準改定
- 4) 装備の推奨（マウスガード推奨、エアバッグ式プロテクションの検討）
- 5) 熱中症・脳震盪などの対応と復帰プログラムの推進
- 6) 全日本モトクロス全戦で医療用品の配備、各加盟団体へ AED 配備指示。
- 7) 事故再発防止を主眼とする事故調査
- 8) モータースポーツライフェービング機構（LSO）に加盟。
- 9) ロードレースにおけるサーキットアドバイザー制度の補助。（随時）
- 10) モトクロス・スノーモビルを中心に観客安全対策の強化。（新マニュアルに基づきネット・コースタープ・

- 立ち入り禁止表示等強化) ※地方選モトクロス選手権、主催者・会場へネットフェンスを支援
- 11) インストラクター養成事業の継続ならびに、競技役員セミナー等で人材育成を行う。
 - 12) ドーピングコントロールの実施
全日本ロードレース・モトクロス・トライアルで年間各 1 回検査を実施する。
※スポーツ振興基金助成事業
 - 13) 公認・承認競技会全てを対象とする観客・関係者の賠償責任保険に加入する。

VI. 組織について

1. 地域組織について

- 1) 加盟団体の業務委託形態と内容について日本二普協と協議し今期一部変更。
- 2) 全日本選手権等主要イベントの集客向上
- 3) M F J ネットワークショップ加入促進活動。
- 4) 加盟団体会長・事務局長会議を定期的を開催する。

2. 中央組織について

- 1) 中央スポーツ委員会の方針に基づき、各委員会・部会を進行する。

VII. 国際対策

- 1) 国際モーターサイクリズム連盟（以下 FIM という）、FIM アジア協会への加盟、連絡、調整
- 2) F I M 総会・F I M アジア総会へ委員及び事務局員の派遣。
- 3) F I M 規則の翻訳
- 4) F I M・FIM アジアライセンスの発行
- 5) FIM 世界選手権の運営に求められる主要競技役員の資格認定の為、F I M 競技役員セミナーを開催、または派遣。（車検長、メディカル）
- 6) 代表選手派遣
 - ・ アジア国別対抗ロードレース等に日本代表チームを派遣する。<日程未定>
 - ・ 国別対抗世界選手権の代表チームの選抜と認定
- 7) 国内で開催される世界選手権・国際選手権等に関する連絡・調整・運営
- 8) その他国際交流の促進

VIII. 補助金事業

1. (公財) J K Aオートレース
 - 1) 国内競技規則書(12月発行平成28年版) 交付申請額: 7,894,000円
交付内定額: 2,297,000円
 - 2) 2016MFJ Moto Awards(ランキング表彰式) 交付申請額: 3,153,000円
交付内定額: 3,129,000円
2. 独立行政法人日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ助成事業」
 - 平成28年度ドーピングコントロール 交付申請額 4,067,000円
交付内定額 4,067,000円

IX. その他の事業

- 1) 諸会議の開催

MFJのスポーツ事業を円滑に推進するために必要に応じて諸会議を開催する。

 - ・理事会(6月/12月/3月)・評議員会(3月/6月) 加盟団体会議
 - ・中央スポーツ委員会・技術委員会・専門委員会・部会
- 2) スポーツ安全保険
 - ・会員のスポーツ安全保険加入管理業務を行う。
 - ・受傷時の確認作業・保険会社への連絡等業務を行う。
- 3) 競技会管理システムの開発・運用
 - ・H28年より主催者/MFJ間の競技会報告書類を電子化するシステムを稼働。
※ロードレースは: H29年1月から稼働目標。
- 4) 下部組織(マーケティング組織) 設立

以下事業について下部組織を設立し、底辺拡大を図る。

 - ・既存会員制度を持つ企業と連携しMFJ会員に特典を設け、レース以外の会員を組織化
 - ・全日本選手権のプロモーション機能(スポンサー活動・広報活動)
 - ・一般ライダーを対象とするツーリングイベント(東北復興応援ツーリング等) スポーツライディングスクール、ジムカーナ等

※本格的活動は平成29年度からとするが平成28年7月より準備期間として業務委託契約する。

以上